

氏名	岸 本 浩 之
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 2 1 号
学位授与の日付	昭和47年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	<b>喉頭造影法の臨床的研究</b>
論文審査委員	教授 山本道夫 教授 田中早苗 教授 砂田輝武

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

喉頭造影法は特殊なレ線装置を必要とせず日常臨床において簡単に行なえるレ線学的検査法である。

喉頭造影法のもつ臨床的意義の中で最も大切な事は喉頭腫瘍の診断にあたって他のレ線学的検査法では得られない、より詳細な粘膜病変を観察、記録することができる点である。

喉頭造影法、なかでも吸気発声時におけるスポット撮影は、喉頭内腔ことに喉頭室の微細な変化を知るために最も有効な方法で、このスポット撮影法を行なうことにより、喉頭室、仮声帯、声帯部の早期病変の観察、記録が可能となる。

更に喉頭造影法は声門下腔腫瘍の診断に際しても腫瘍の下方限界の決定に関して直達鏡検査よりも有効な情報を我々に提供してくれる。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究の喉頭造影法は、他のレ線学的検査では到底得られない臨床的意義を持つもので喉頭腫瘍の診断に当り微細な喉頭粘膜病変を観察し得るものであり且つ腫瘍の下方限界、片側性又は両側性かの決定に関して直達鏡検査より有効であることを明らかにし価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。